

2023年第2回渉外総務委員会及び 第2回環境整備・交通対策委員会議事録

本会議は予定通り開催し、その概要は以下の通りでした。

- 1 日時及び場所 2024年1月16日(火) 11:00～
公民センター・1F会議室
- 2 出席者 駒村代表理事、宇津野副代表理事、尾籠副代表理事、染谷事務局長
渉外総務委員会：人見委員、津覇委員、木村委員、野中委員
高橋委員、鈴木委員、阿部委員、森川委員
(欠席：木村、秋山委員長)
環境整備・交通対策委員会：永井委員長、佐藤委員、山田委員、小杉委員
(欠席：山口、藤野、桜井、湯浅、宿利、住友委員)
- 3 協議事項
以下4件について、今回は2つの委員会の合同会議のため駒村代表理事が議長となり、染谷事務局長に説明を求めたうえで、協議した結果、すべて了承される。。

第1号協議 新たな交流事業の実施の件

本件については、昨年9月からアンケート調査を実施したところ主な回答は以下のとおりでした。

- (1) 社内にあるクラブ・サークルで多いもの
①野球：6社 ②ゴルフ：3社 ③フットサル、釣り、テニス：各2社
- (2) 新たな交流事業の開催についての意見
①した方がよい：14社 ②実施しなくてよい：10社
③どちらともいえない：41社
- (3) 開催を希望する新たな交流事業
・スポーツ系
① ボーリング：14社 ②フットサル：6社 ③バレーボール：5社
・文化系
① 将棋、カラオケ：各4社 ②囲碁：2社
・その他
① 視察研修旅行：15社 ②イベント観光ツアー：8社
- (4) 運営への参加
①わからない：36社 ②できない：18社 ③一部出来る：17社
④できる：1社
(理由)
・業務多忙、人手不足、参加者がいない、プライベート優先、人数が少ないなど
- (5) 新たな交流事業への参加費の負担
①一部の負担であれば可能：30社 ②可能：18社 ③不可能：16社

【新たな交流事業に関するアンケート調査の回収率】

- ・通知件数：231件
- ・回収件数：77件(回収率：23.98%)

以上の結果から、新たな交流事業については、多くの会員において強く望んでいる状況ではないように思われますが、当面、1つを選定し試行的に実施し、会員企業及びその従業員の交流を促進し当協議会の活性化につなげていきたいと考えています。

ついでには、開催に当たって以下の点を踏まえて選別し、最も多かった「ボーリング大会」の開催について、来年度後半を目標に検討を進めることとする。

- ① 運営における負担が少ない（事務局及び参加企業）
- ② 誰でも気軽に参加できる
- ③ 過大な運営費の負担とならない
- ④ 会場が容易に確保できる
- ⑤ 日程の調整がしやすい など

※なお、親善野球大会は、これまでと同様に継続して開催することとする。

第2号協議 ハザードマップの作製の件

本件については、多くの個所についての情報が寄せられ、これらを別添「簡易型ハザードマップ」のとおりまとめたので、内容を精査していただいた後、成果品として各社に配布し役立てていただくこととする。

【ハザードマップ作製に関する調査】

- ・通知件数：231件
- ・回収件数：89件（回収率：27.72%）

第3号協議 交通安全の推進の件

これまで、のぼり旗による啓発活動を行ってきましたが、より強化するため車両の側面等に啓発用マグネットシートを各社の社用車等に貼っていただき、動く広報車として啓発を行うとともに、運転者の自己啓発を図るものとする。

(1) 交通安全用マグネットシート

20×500cm 2枚1組で100セット作成

各社に呼びかけ、希望のあった事業所にご協力をいただくこととする。

特にトラック運送などを行う事業所の協力を得て、安全な工業団地にしていくようにする。



(2) 防犯対策用マグネットシート

20×500cm 2枚1組で50セット作成

昨年末に役員の事業所にご協力をいただき、啓発を開始しましたが、引き続き啓発活動を行っていただく。

また、協力事業所を募集し、その拡大を図ることとする。



第4号協議 バイオガス発電施設(廃棄物中間処理施設)の整備計画の件
別添資料を参照してください。

本件については、周辺に配慮した環境保全対策が取られていることから、本委員会においては以下の条件を付して了承することとする。

なお、当協議会としての対応は、この後、2月に開催する当協議会の理事会及び白井工業団地地区まちづくり協議会に諮り承認の可否を決定することとする。

【承認の条件】

- (1) 当協議会と「環境保全基本協定」を締結し、周辺環境に配慮した運営を行うこと。
- (2) 当協議会に入会し、会員として当協議会の運営に積極的に協力すること。
- (3) 工事期間中の交通対策、騒音・振動等については、当協議会に事前に協議し周辺事業所等に影響がないように配慮するとともに、事故等の防止を徹底すること。

《全体を通しての主な意見等》

- ・交流事業に行いて、現在公民センターにおいて市民が行っているサークルと一緒にやって行ってはどうか。

⇒市民が行っているサークル活動は、昼間に開催されており、従業員がこれに参加するのは難しい。

なお、2025年から公民センターが指定管理者制度に移行することから、当協議会がこの指定管理者となるべく事務作業を進める予定であり、指定管理者となった際は、従業員向けの講座等を開催し、公民センターの利用拡大にもつなげる予定である。

- ・交流事業は、何か新しいものを早急に実施すべきである。
- ・ハザードマップについては、内容を従業員とも再度よく確認したい。
- ・安全について、協議会がこのように検討していることはいいことであり、社内でも周知したい。
- ・最近、地震が多いので、地震対策、特に地震に伴う火災への対応なども何が必要か検討すべきである。
- ・交通安全用マグネットシートは、バス会社などにも協力をいただいてはどうか。
- ・工業団地アクセス道路は、カーブが多くかつ狭い中、大型車が多くなっている危険である。

また、通勤の自転車（外国人）も通行しており危険を感じているので、大型車の規制や、注意喚起が必要では。

⇒通行する車両への交通安全の啓発を会報や個別通知等で実施したい。

- ・富塚交差点の交通量調査の結果などを知りたい。
- ・マグネットシートを早速社内で活用したい。
- ・2つのアンケートについて、回収率が30%未満となっており、関心度が少ないので、今後様々な活動への関心度を上げていくべきである。
- ・白井バイオガス発電所の関係は、周辺事業所への説明をすべきである。
⇒次回の定例理事会までに説明を行う予定です。

4 閉会